



19-20年度スローガン「福島ロータリープライド」 <http://www.f-rotary.com/>

# ROTARY CLUB of FUKUSHIMA 福島ロータリークラブ会報

vol.

8

2019.9.5 thu



福島ロータリークラブ  
Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



【例会場】福島市上町 4-30  
クラーリアンテ サンパレス  
【例会日】木曜日 12:30  
【事務所】福島市栄町 5-1  
ホテル辰巳屋 7F  
【TEL】024-524-1010  
【FAX】024-524-1011  
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp  
info@f-rotary.com

## 》 会長あいさつ 《



2019-20 年度会長  
右近 八郎

今日は「基本的教育と識字率向上月間」です。今日は日本の識字率について話をさせていただきます。

識字率とは「15歳以上の人口に対する読み書きができる人口の割合」と定義されています。現在では世界の多くの国が十分な識字率を有しているようですが、歴史的推移をみると日本の識字率は異常とも言える高さを誇っていたようです。特に江戸時代の識字率は同時代の欧州諸国と比較しても特筆すべき水準だったようです。この事実は特に調査記録があるわけではなく、当時日本に渡来した外国人の紀行文にそのような主旨の記述が多く見られるためです。

さて識字率という話題はそのまま日本人の教育観や向学心の問題であり、日本人が育んできた風習や感性を抜きにしてはその本質を見逃すことになります。そこで去年の会報の私のひとことに投稿しました「縄文再考」という一文の概要を紹介させていただきます。

『縄文文明は世界文明の中で独自の進歩を遂げた日本文明のゆりかごの役目を果たした文明です。「海が作った森の王国」というのがその独自性を含んだキャッチフレーズです。現在に残る日本独特の国民性は、結果的に自然との共生を選択した縄文時代にその起源を求めることができます。1万年以上に亘る平和な狩猟・採集を基盤とした定住生活は、現代の日本人の、特にその精神性に様々な影響を残していると考えられます。』

突然縄文時代の話になりましたが、実は縄文時代に関する知見は1992年に調査が開始された青森県にある三内丸山遺跡により従来とは一線を画したものになりました。その後最新科学による分析・検討が進み、得られつつあるエッセンスが前述の一文です。「海が作った森の王国」というキャッチフレーズは実はNHKスペシャルによるものですが、その続きを作りました。それは「森が育てたやさしい日本」というものです。あの司馬遼太郎がドナルド・キーンという米国生まれの日本学者との対談で、日本文化の本質的性格を「たおやめぶり」としています。まさにやさしい日本です。

識字率の話が縄文時代の話になりましたが、この続きは次回の会長あいさつで紹介させていただきます。「基本的教育と識字率向上月間」にあたっての会長あいさつ(その1)とさせていただきます。

## 本日のプログラム

### 新会員スピーチ

(株)福島銀行 取締役社長 加藤容啓 会員  
損害保険ジャパン日本興亜(株) 福島自動車営業部長  
小野悦也 会員

## 》 例会次第 《

開会点鐘 右近八郎 会長

国歌斉唱  
ロータリー・ソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 安藤健次郎 会員

「四つのテスト」唱和  
職業奉仕委員会 長谷部一雄 委員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介  
米山奨学生 ヴォティテュハーさん

9月誕生祝い  
米山記念奨学金 9月分支給  
米山奨学生 ヴォティテュハーさん

メンター委嘱状交付 後藤忠久 会員  
後藤洋伸 会員

会長あいさつ 右近八郎 会長

幹事報告 菅沼 裕 幹事

各委員会報告  
■例会小委員会 ニコニコBOX担当  
田沼紀美子 委員長

閉会点鐘 右近八郎 会長



安藤健次郎 会員 ソングリーダー  
長谷部一雄 委員 「四つのテスト」唱和  
田沼紀美子 委員長 ニコニコBOX担当

## 》 幹事報告 《

例会変更のお知らせ  
●福島北RC、9/10(火)の例会は9/9(月)の東北第二分区分会ガバナー歓迎晩餐会へ振替休会になっております。

その他のお知らせ

- 9月のロータリーレートは1ドル106円となりますのでお知らせ致します。
- 10/27(日)に開催される地区大会は、バスの送迎を致します。たくさんの方の参加をよろしくお願いいたします。
- 9月は「基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間」です。My ROTARY内検索項目から識字率向上で検索してみてください。

## 》 例会スケジュール 《

9月19日(木) 祝日の週の為休会

9月26日(木) 祝日の週の為休会

10月3日(木) 12:30~ クラーリアンテサンパレス  
【通常例会】

## 新会員スピーチ

(株)福島銀行 取締役社長

加藤容啓 会員



皆さまこんにちは。福島銀行社長の加藤容啓（かとうたかひろ）と申します。

今日は、諸先輩方を前にこのような機会を頂きまして誠にありがとうございます。

まずは、自己紹介をさせて頂きまして、その後福島銀行の社長職をお引き受けした理由等についてお話してみたいと思います。

### 1. 私の生い立ち

まずは、私自身の生い立ちからお話しいたします。

私は、福島市渡利の出身でありまして、昭和31年12月にこの世に生を受けました。現在62歳でありまして、我ながら年を取ったとは思いますが、まだまだ若いものには負けないという気持ちも少々持ち合わせている62歳であります。

私の名前は「ようけい」と書いて「たかひろ」と読みます。「内容」の「容」という字と「拝啓」の「啓」の字で「たかひろ」と読むのですが、「たかひろ」という名前の方は沢山いらっしゃいますし、色々な字の「たかひろ」がいらっしゃいますが、私と同じ漢字の「たかひろ」はまずいと思います。

また、生まれてこの方正しく名前を読んで頂いたことは一度もありません。

ただ博学な人から「かたひろ」ですかと言われたことはあります。

私の「たか」という字は、会津藩の松平容保公の「かた」という字を「たか」と読ませています。下の「けい」という字は、結構「ひろ」と読む方はたくさんいらっしゃいます。

この名前は、福島稲荷神社に父が頼んで、画数のいい字を選んだと聞いております。これまでずっと「ようけい」と呼ばれてきておりますので、「かとうようけい」と呼んで頂いても一向に構いませんので、宜しく願いいたします。

それから、私の渡利の地名は、転石（ころびいし）というところでありまして、日本語で言うところあまり響きは良くありませんが、英語に直しますとローリング・ストーンということでございまして、弁天山から転がってきた岩が近くにあります。

私の家、自宅は、庭が弁天山につながっておりますので、小さいころから、弁天山は自分の家の庭だと思い育ってきました。夏は、山でカブトムシやクワガタを取り、冬は坂道でそり滑りをして遊びました。

幼稚園は、めばえ幼稚園でありまして、当時のめばえ幼稚園は、今の北町、あいおい損保がある場所、国道4号線の福島日産さんのすべがいにありました。

小学校は福島一小、中学が福島一中、そして福島高校を卒業しまして、中央大学に進学いたしました。高校と大学の間に1年間仙台で浪人生活も送っておりまして、この1年間でしっかりお酒を楽しめる人間に成長しました。

そして大学では麻雀生活を送っているうちに、あっという間に4年生になり、長男でありましたので、福島に帰ってきたほうがいいのかと思ひ、東邦銀行へ就職いたしました。

特に銀行員になりたかった訳ではなく、父親が公務員で当時は薄給であったため、民間に就職したかったということです。

### 2. 東邦銀行～とうほう証券

私は、昭和55年4月に東邦銀行原町支店に新入行員として入行いたしました。それから専務取締役として退任するまで東邦銀行に35年間お世話になりました。

その後平成27年8月とうほう証券設立と同時に社長に就任しまして、平成28年4月に開業、平成30年5月までとうほう証券で約3年間、通算38年間東邦銀行グループにお世話になりました。

勿論多くのお取引先、お客様にも、大変お世話になりご指導頂きました。

### 3. 福島銀行社長職を引き受けた理由

最後に、私が平成30年6月に福島銀行社長に就任しまして、1年2カ月あまりが過ぎたところですが、私が福島銀行の社長職を引き受けようと思った理由についてお話ししたいと思います。

前任の森川社長から自分の後任にというお話を頂きまして、晴天の霹靂でありまして、赤字の銀行を引き受ける訳ですので、そう容易く決断できるものではありませんでした。正直相当悩みました。

福島県のためにも誰かが引き受けなければならないと思いましたが、自分以外にも適任の方がいるのではないかと考えました。

また、亡き父に相談したら何というだろうとも考えました。社長職をお引き受けした主たる理由は、福島県のためということと、私自身が、震災後の福島の実情を知っており、38年にわたる銀行及び証券会社の経験があったということです。

特に証券会社を経験したことが、大変大きいと考えておりまして、証券会社を経験しなければ、社長職は引き受けなかったと思っております。

銀行は、マイナス金利の影響で金利低下が進み、貸出金の利息だけでは、とても食べていけない状況になっています。銀行にとりましては、まさに今は金利が上昇するまでの間、じつと耐えるしかない逆境の真ただ中にあり、我慢の時期です。

現在貸出金の利息を補えるものは、手数料収益しかありません。その中核を成すものが、証券の商品であると考えております。

私は証券会社の社長を経験いたしましたので、その商品の幅の広さといいますが、商品のバリエーションを良く知っています。

現在、銀行で扱っている証券の商品は、証券の商品が全部でこれくらいあるとすると、銀行で扱っている証券の商品はこれくらい、ほんとうにわずかです。

まだまだお客様のニーズに合った商品が証券会社には山のようにあります。

そういった証券の商品を比較的低リスクのものから、徐々に福島銀行においてご紹介して参りたいと考えております。

今年の1月から証券仲介ということで、仕組債や外国債の取り扱いをスタートいたしました。是非皆さまにもお取引を頂きたく考えておりますので、まずは証券口座をお作り頂きたいと思ひます。

金融庁は「貯蓄から資産形成へ」というスローガンを表明しておりますが、実際にこれを実現できるのは、一部の富裕層を対象とした証券会社ではなく、一般のマス層をお客様としている銀行であると私は考えております。

ですから、銀行員だけでなく、証券会社を経験したからこそ、できることがあるのではないかと考えたことが、社長職を引き受けるに至った一要因であります。

社長職の要請をお断りすることは簡単でしたが、森川社長からお声をかけて頂いた以上お断りすれば、後々悔いが残ると思ひましたし、人生は一度しかありませんので、誰かが社長を引き受けなくてはならないのなら、私がお引き受けしようという考えに至りました。

そして私の名前は、加藤容啓ですが、「たか」という字は、会津藩の松平容保公の「かた」という字です。

松平容保公が苦渋の選択で京都守護職を引き受けたように、読み方は違えどもおなじ「容（かた）」の字を引き継いだ者として、やれるだけのことはやってみようと思ひましたし、これまで自分がやってきた通り、与えられた仕事な訳ですから、今まで同様与えられた仕事を一生懸命やってみようと、これは天命かもしれないと思ひました。

私は、「今日一日、その時々自分がやるべきことをやる。自分ができるだけのことをやる。まさに人生はその連続である」という思いで、これまで生きて参りました。

ですから、今更自分の生き方を変えたくはないという思いでお引き受けしたというのが私の腹の内ということです。

これからも自分なりの一貫通貫の生きざまを大切に、福島銀行社長職を全うしたいと考えておりますので、引き続きの福島銀行へのご支援を宜しくお願い申し上げ、拙い私のスピーチとさせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。

## 新会員スピーチ

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 福島自動車営業部長

小野悦也 会員



こんにちは、損保ジャパン日本興亜の小野でございます。  
本日はこのようなスピーチの機会を頂戴し、ありがとうございます。余計なお話も差し上げるかもしれませんがご容赦賜りますようお願いいたします。

本年4月1日付けの異動で岐阜県から福島県に転勤になり、本日珍しくお越しの福島日産代表の金子與志人さんのご紹介により入会させていただきました。ありがとうございます。早速余計なことをお話し、申し訳ありません。

生い立ちについて少しお話ししますが、私は昭和42年5月15日に、他界してしまった母の実家があった東京都品川区で生まれ、その後は千葉県の市川市というところに移り住み、学生時代まで市川市で過ごしました。現在の家族は妻と娘二人、加えてメス犬1匹ということで女性に囲まれた環境です。私は単身赴任で、他の家族は以前に勤務していた名古屋市に住んでいます。娘二人は大学生でそのうち一人は中国に留学しています。中国ではLINEを使用できないということで、「WeChat」というアプリを使い、その娘とはやりとりをしています。妻はドイツ料理屋さんなどでアルバイトをしています。メス犬は室内犬のチワワなのですが、私が帰省して一番歓迎し喜んでくれるのがこのチワワで、私が遠方まで帰省する大きな動機の一つです。

市川市というのは比較的東京に近く、江戸川という川を挟んで隣あったところにあります。東京ディズニーランド・東京ディズニーシーのある浦安市の隣にもなります。

浦安市というのは、山本周五郎さんが書いた「青べか物語」の舞台にもなったところですが、もともとは市川市浦安町だったということです。

また、先ほど市川市は江戸川を挟んで東京の隣になると言いましたが、江戸川の向こう側には、寅さんで有名な柴又帝釈天やモデルとなった「とらや」もあり、時折行った覚えがあります。少し古いですが、松田聖子さんが主演された「野菊の墓」や細川たかしさんが唄った「矢切の渡し」も比較的近い、そんなところが市川市です。

小中学校時代は野球やサッカーをやっており、サッカーは高校までやっていました。

福島ロータリークラブに入会の際にみずほ銀行の友田支店長も同郷の市川で小中学生の頃サッカーをやっていたと聞きましたが、学年も近く、当時試合などでずれ違っていたのかもしれませんが。

大学は早稲田大学に進学し、卒業した平成3年(1991年)に現在の損保ジャパン日本興亜に入社しました。

少し会社のお話もさせていただきますが、私が入社した当時はまだ安田火災海上保険という社名でしたが、平成14年(2002年)7月に日産火災、大成火災と合併し、まず「損害保険ジャパン」になり、その後、平成26年(2014年)9月に「日本興亜損保」と合併し、現在の「損保ジャパン日本興亜」になりました。

日本興亜損保も、もとは日本火災、興亜火災の2社が合併してできた会社でしたので大きくは損保5社が合併し、現在の損保ジャパン日本興亜が出来上がったということになります。合併は既に昔のことですので当時の苦勞の記憶はどんどん薄

れていますが、各々の合併時には私も苦勞しましたが、徹夜する社員もいたほど皆が苦勞していたことを覚えています。当時からご愛顧いただいている方も多いと思いますが、一番はお客さまや代理店の皆さまにご不便をおかけしたことが記憶に残っています。

私がかつと入社した安田火災という会社は、創業の明治20年当時は「東京火災」という社名で日本初の民営火災保険会社でした。

明治26年(1893年)には、契約者の皆さまを24時間365日体制で火災から守るという精神から「東京火災消防組」という組織を結成し、火災のときには、とびぐちマークのついた法被を着て提灯やとびぐちを持って消火に駆けつけていたと聞いています。当時の警視庁から正式に認可された唯一の私設消防団だったということで、「保険会社の消防」として頼りにされていたとのことです。

そうして火災保険は徐々に浸透していましたが、出資者は広がり次第に資金難になっていったようでした。そんな折に、安田銀行を中心とする安田財閥を一代で築いた安田善次郎氏が登場し、「火災保険は社会に不可欠である」として、経営に乗り出したという歴史があります。その東京火災もその後、帝国海上、第一機罐(だいいちきかん)という会社と合併し、昭和19年(1944年)に「安田火災」が誕生しました。損保ジャパン日本興亜の本社は、東京都新宿にありますが、その42階には「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」という美術館があり、ゴッホのひまわりも展示されています。現在、本社ビルの敷地内に新館を建設中で、来年5月には、「SOMPO美術館」として新美術館が開館する予定です。

ご存知の方もいるかもしれませんが、ゴッホのひまわりは、昭和62年(1987年)に安田火災が53億円で落札したもので、1枚の絵の取引としては当時の最高額だったようです。

当時は贋作疑惑も沸き上がったと聞きましたが、今では本物として認知されていると聞いておりますので間違いないと考えています。

損保ジャパン日本興亜の歴史語りのようになってしまいましたが、そんな損保ジャパン日本興亜は、来年4月にまた社名を変える予定です。新社名は、損害保険ジャパン株式会社ということで、ひと昔前の社名に戻ることになります。これは、お客さまから、社名が長すぎるというお客さまのご批判の声なども反映してのことですが、以前の損保ジャパンは前株でしたが、今回は後株になるということです。

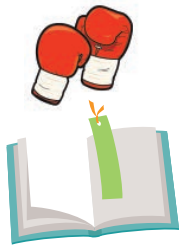
そんな会社に入社して、入社初年度は東京の保谷市、現在の西東京市にある事務本部というところで研修を兼ねながら配属になり、2年目に先ほどお話しした安田善次郎さんの生まれ故郷でもある富山県に配属になり、5年の営業勤務を経て、新宿の本社へ異動になりました。富山県では今の妻とも出会いました。本社では金融法人部という金融機関チャネルの営業と、営業開発部という官公庁諸団体に対する営業を合計で12年ほど経験しました。金融法人部配属当時はまさに金融ビッグバンの時代で多くの取引先さまが再編を余儀なくされたことを覚えています。また、営業開発部時代には、姉歯問題で世間を騒がせた住宅瑕疵保障の取り組みなども経験し、国交省のお役人の方々と協議し進めたことなども思い出されます。その後は、名古屋と岐阜で約10年、自動車業界関連の仕事させていただき、今に至ります。

会社の話が長くなり失礼しましたが、皆さまからは引き続きご指導・ご鞭撻を賜ればと思いますのでどうぞ宜しくお願いします。

## 私|の|ひ|と|こ|と

先日、ある書物でガッツ石松さんの「おふくろ」の思い出話を読んだ。長い人生の深みと親とはやはり有り難い存在だと思わせるエピソード、ご紹介したい。

石松さんがボクシングをするために、田舎を出て上京しようとしたとき、土方仕事で家族を支えていた「おふくろ」さんが、泥だらけの手で前掛けから一枚の千円札をくれた。そしてハラハラと涙をこぼしながら、悪さばかりしていた石松さんに「偉い人間になんかならなくていい。立派な人間になれ」と。



苦労した人間の言葉には重みがあり、石松さんは、今でもその千円札は使えなくてずっととってあるそうだ。



佐藤 朋幸 会員

## 9月誕生祝い



清水 太郎 会員  
昭和42年9月2日  
菅野 晋 会員  
昭和37年9月10日  
白岩 康夫 会員  
昭和4年9月13日  
勢島 昇 会員  
昭和22年9月21日

山貫 昭子 会員  
昭和43年9月21日  
森岡 幸江 会員  
昭和35年9月25日  
坪井 大雄 会員  
昭和34年9月26日

### メンター委嘱状交付



後藤 忠久 会員  
(佐々木高敏 会員)  
後藤 洋伸 会員  
(小原孝嗣 会員)

### 米山記念奨学金 9月分支給



■米山奨学生  
ヴォ ティ テュ ハー さん

ニコニコBOX 報告 本日のニコニコBOX投入額 29件 **¥61,000** 累計 **¥586,000** [報告] 田沼紀美子 委員長

### 右近 八郎 会長

ようやく秋らしい季節になりました。今日は、加藤会員、小野会員のスピーチよろしくお願いします。

### 菅沼 裕 幹事

福島銀行加藤容啓会員、損保ジャパン日本興亜小野悦也会員のスピーチ、楽しみにしております。

### 内池 浩 会員

初秋の候、ということですが、安くて美味しい秋刀魚はいつになったら食べられるのでしょうか。

### 江波 恒夫 会員

加藤さん、小野さんのスピーチ楽しみにしております。

### 加藤 容啓 会員

今日はスピーチさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 小野 悦也 会員

今日はスピーチさせていただきます。宜しくお願いします。

### 五阿弥 宏安 会員

加藤会員と小野会員の新会員スピーチを楽しみにしております。

### 中山 興 会員

米中貿易摩擦やBrexitを巡る英国混乱、日韓問題など世界情勢の不透明さを表すように最近の福島の天気も冴えない曇天が続いています。早く爽やかな秋晴れになることを祈って

います。

### 古俣 猛 会員

加藤社長、小野部長のスピーチ楽しみにしております。宜しくお願いします。

### 坪井 大雄 会員

誕生日お祝いありがとうございます。

### 白岩 康夫 会員

誕生日有難うございます。お陰で孕寿を迎えることが出来ました。ロータリーのお陰と思っております。年齢はいつの間にか忍び寄ってきます。

### 幡 研一 会員

加藤会員、小野会員の新会員スピーチを楽しみにして。

### 加藤 義朋 会員

(公財)米山梅吉記念館創立50周年記念式典で米山功労賞を贈呈の通知をいただきました。

新会員：加藤様、小野様のスピーチを期待します。

### クラブ会員より

安藤健次郎／今井理基夫／加納武志／菅野 晋／児玉健夫／後藤浩之／佐藤 徹／佐藤英典／佐藤良智／清水太郎／村上守人／望月大輔／森岡幸江／八子英器／八代大輔／田沼紀美子